加古川市議会議員 落合 誠 市政報告No.37号

2期目4年間の加古川市の議会だよりに掲載された一般質問内容です。

2期目

1期目

運動中

議会だよりNO219掲載 令和3年第6回定例会

加古川市手話言語及び障害者コミュニケーション促進条例の制定後の推進について

問 条例制定後に推進した施策の実施状況や今後への所見はどうか。

答 障害の特性に応じた多様なコミュニケーション手段の環境整備として、点字ディスプレイ給付対象者の要件緩和、災害時用コミュニケーション支援ボード作成などを行い、コミュニケーション支援者などの確保および養成のため、手話奉仕員養成講座に加えてステップアップ講座を創設した。さらに、加古川中央市民病院と連携し、オンラインによる遠隔手話通訳の体制も整備している。今後も、障がい者団体などの意見を聞きながら、コミュニケーション支援の充実に努める。

問 バリアフリー化と周辺整備の状況、さらなる推進に向けての考えはどうか。

答 国の基本方針に基づくバリアフリー化対象の6駅は、エレベーターや障害者対応型便所の設置など、バリアフリー化が完了している。JR加古川駅、東加古川駅周辺は、重点整備地区として道路や駅前広場などの周辺整備を推進してきた。今後も、さらなる推進に向け、音声などによる案内設備の設置など、必要な機能を精査し鉄道事業者に要望していくほか、主要な生活関連経路を構成する道路などの周辺整備についても、鋭意バリアフリー化に努めたい。

落合 誠 議員
（無会派）

QRコード

平成27年第2回定例会で一般質問した公共交通施設のバリアフリー化と周辺整備のその後の推進について

後援会にご入会ください。

入会・年会費無料

入会申込は、ふれあいの店おちあい各店にあります。

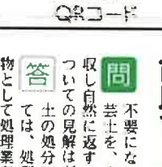
運動中

議会だよりNO210掲載 令和2年第1回定例会

市民ニーズに対応した市民サービスの向上について

問 不要になった園芸土を、市が回収し自然に返すことについての見解はどうか。

答 土の処分については、処理困難物として処理業者や販売店に相談するよう案内しているが、民間事業者に依頼した場合、費用が高いなどの課題がある。今後は、家庭でできる園芸土のリサイクル方法をホームページ等で案内することや、園芸土の引き取りが可能かどうかについて、近隣自治体の状況も確認しながら調査・研究をしていきたい。



落合 誠 議員
（無会派）

多胎児家庭等への支援やサービスの向上について

問 産前・産後家事ヘルパー派遣事業の対象を多胎児家庭等について、出産後1年以内としている根拠は何か。

答 国のガイドラインに、出産後は身体的・精神的負担や不調が強く、これらの回復や安定のために、出産後4カ月までは支援が必要と示されていることや、近隣自治体の状況を勘案し、本市の当該事業の利用については、ガイドラインより2カ月延長した6カ月以内としている。さらに、多胎児または低体重児のいる世帯は、より負担が大きくなると考えられることから、利用期間を6カ月から1年に延長している。

その他の質問項目
◆産前・産後家事ヘルパー派遣事業の利用状況◆多胎児用ベビーカーなどのリユース・リサイクル制度の確立◆2人のお子さんを自転車に乗せるパパ・ママ向けの補助金制度

運動中

議会だよりNO218掲載 令和3年第5回定例会

令和4年7月に実現 平成30年当時に要望のあったこども医療費高校生まで無料化について

問 こども医療費を中学生まで無料化した背景は何か。高校3年生までの入院医療費を無料化した場合に必要な予算と無料化への考えはどうか。

答 子育て世代が安心して子育てできるように、中学3年生まで入院医療費の3分の一を助成する限制度が創設されたことが背景にある。その後、子育て支援の充実を図るため、対象範囲の拡大や一部負担金の軽減などを行い、現在は所得制限なく入院及び通院医療費を無料としている。高校3年生までの入院医療費を無料化した場合、年間約1千400万円の扶助費が必要と見込まれる。子どもたちの健全育成と子育て支援の充実を図るため、医療面での継続的な支援が必要と考えており、市民のニーズや財政負担などを踏まえ、高校生世代への医療費助成を検討している。

落合 誠 議員
（無会派）

QRコード

その他の質問項目
●以前に一般質問など を行った子育て支援策の現状の再確認について「平成30年第1回定例会等で一般質問した中学校給食の早期実現と学校給食無償化／令和元年当時に要望のあった市立幼稚園等へのエアコン設置と小中学校体育館等へ避難所環境としてエアコン設置をすること／平成27年第5回定例会にて一般質問した切れ目のない子育て支援の充実（加古川流ネウボラ）●加古川養護学校の支援策について「加古川養護学校の看護師等配置状況及び増員」

運動中

議会だよりNO208掲載 令和1年第3回定例会

禁煙外来の利用者支援について

問 禁煙外来の活用は禁煙成功のカギの一つで、行動を起こすきっかけが必要と考える。本市では、どのようなPRや支援策を実施しているか。また、禁煙治療の自己負担額の一部助成についての考えはどうか。

答 禁煙外来のPRとしては、市のホームページを通じて、加古川医師会に所属する、禁煙相談ができる医院を紹介している。支援策としては、窓口や電話、巡回健康相談等において、喫煙者には禁煙相談だけでなく、禁煙外来の紹介を含めたきっかけづくりを実施している。また、自己負担額の一部助成については、先進地の状況等を調査・研究し、検討を行っている。

落合 誠 議員
（女性の笑顔で未来を語る会と雄新）

空き家管理費の補助について

問 空き家管理費の補助制度により、再流通の促進や、管理義務意識の高揚に結びつけるなどの効果があると考えるが、見解はどうか。

答 本市では現在、空き家管理費の補助制度は実施していないが、空き家になった早い段階からしっかりと管理することが効果的と考え、昨年度より、空き家管理サービス事業者の登録紹介制度を設けている。現在10事業者の登録があり空き家の所有者が自身で管理できない場合には、管理サービスの利用を促している。また空き家管理とは別に、宅建協会と連携し、空き家バンクを運営することで、空き家の流通促進にも取り組んでいる。今後も、他都市の事例を参考にしながら調査・研究を進めたい。

運動中

議会だよりNO209掲載 令和1年第4回定例会

子どもの貧困の連鎖をなくす取り組みについて

問 子どもの貧困対策計画策定に対する考えはどうか。

答 本市では、子どもの貧困対策の推進に関する法律や子供の貧困対策に関する大綱に掲げられている施策はおおむね実施しており、制度の周知や支援策の拡充を図ってきたが、令和元年6月に同法が改正され、市町村に貧困対策計画を策定する努力義務が課された。また、同法制定時に、兵庫県が策定した貧困対策計画の見直しが行われると思われるため、県の計画見直しに合わせ、本市の支援施策体系を整理し、計画の策定を進めたい。

問 ひとり親家庭等への家賃補助や市営住宅優先入居などの支援策の有無と、今後の取り組みへの考えはどうか。

答 現在、ひとり親家庭等への家賃補助は行っていないが、ひとり親家庭に限らず、子育て世帯や高齢者、障がい者等の住宅の確保に配慮を要する人に対して、賃貸住宅の供給促進が図られるよう、加古川市住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画を策定している。また、市営住宅については、団地内の高齢化が進む中、子育て世帯を含む若年層世帯の優先入居制度の導入に向けて検討を進めているところであり、今後も、住宅の確保に配慮を要する人が安定した住生活を送ることができるよう取り組んでいく。

落合 誠 議員
（女性の笑顔で未来を語る会と雄新）

ひとり親家庭等の子育て支援について

運動中

議会だよりNO204掲載 平成30年第5回定例会

障がい者・高齢者等へ配慮した施策の現状とさらなる進化について

問 合理的配慮の提供の促進に係る助成金の今年度の執行状況と、昨年度助成金を受けた事業所の取り組み状況はどうか。

答 合理的配慮の提供の促進に係る助成金は、平成30年11月28日時点では、2件、11万1千735円であり、今後9件が申請される予定である。また、あらゆる障害に対する環境整備を進めていくことが合理的配慮の提供の促進につながるものと考えるため、昨年度に助成を受けた事業者にも、引き続き制度の利用を促していきたい。

問 中央市民病院における合理的配慮の提供に関する職員対応要領の策定状況はどうか。また、手話通訳士の配置の状況はどうか。

答 中央市民病院には、障がいのある方も多く来院され、合理的配慮の提供が必要なことから、職員対応要領の作成を依頼しており、今後、作成にあたり支援を行っていく。また、手話通訳士の配置については、病院が円滑なコミュニケーションの必要性を考慮する中で、検討するよう促したい。

落合 誠 議員
（無会派）

その他の質問項目
◆平成26年第5回定例会にて一般質問した「手話通訳派遣と普及」の現状と進化◆平成27年第2回定例会にて一般質問した「公共交通施設バリアフリーと周辺整備」の現状と進化◆民間事業者等の手話学習会への支援策◆手話通訳士育成並びに手話検定受験料支援

一部実現

議会だよりNO206掲載 令和1年第1回定例会

高齢者・障がい者等にやさしい公共交通のあり方について

問 昨年度実施された、尾上町の公共交通に関するアンケート結果の分析と対応はどうか。また、旧浜国道沿線地区の公共交通の現状と、今後の取り組みについての見解は。

答 アンケートでは、さまざまな意見をいただいている。また、旧浜国道を選行している神姫バスは、1日2往復という選行状況などから利用も低迷しており、来年度中に休止する意向が示されている。そのため現在、市南部地域の新たなコミバスルートの導入を検討しており、ルート設定にあたっては、地区別行政との懇談会（尾上地区）やアンケートでの意見を踏まえ、対象地域の利便性向上が図られるよう、検討を進めたい。

問 市営住宅等の優先入居の現状と考えはどうか。

答 本市の市営住宅居は認めていないが、満60歳以上及び障がいのある方については、単身入居を認めている。また、入居者の状況に応じて、住環境の向上の観点から特例的に市営住宅内の住替えを可能とする「住替え制度」の実施について検討を進めている。しかしながら、これらの制度のみでは高齢者や障がい者、子育て世代等の方々が必ずしも居住しやすい環境ではないことも認識しており、今後、市営住宅のみならず、民間住宅も含めた、住環境の向上に寄与する取り組みを検討したい。

落合 誠 議員
（女性の笑顔で未来を語る会と雄新）

市民にやさしい市営住宅のあり方について

問 高齢者・障がい者・子育て世代

おちあい誠後援会
〒675-0023加古川市尾上町池田327ナチュラルクローバージャパン内TEL079-427-7296（留守電受付）

加古川市議会議員 落合 誠 市政報告No.37号

1期目4年間の加古川市の議会だよりに掲載された一般質問内容です。

調査研究中 議会だよりNO199掲載 平成29年第6回定例会
平成29年度新規事業の住民参加型映画プロジェクトの現状について

問 映画制作実行委員会設立の意義や目的についてはどうか。

答 今回の映画制作プロジェクトは、行政のみで進めるのではなく、各種団体や市民の積極的な参画を求め、市民協働による進めることが重要であるとの認識から、平成29年5月に加古川市シティプロモーション映画制作実行委員会を設置した。

問 加古川市シティプロモーション映画制作実行委員会で作成する文書は公文書か。

答 当該実行委員会は、市の業務を行うため、市が主導して設置したものであり、当該実行委員会に関する文書は、公文書にあたると認識している。

問 市民の主役級への起用状況についてはどうか。

答 映画の出演については、主役級のみならず、多くの市民に出演していただくとの考えから、平成29年7月にオーディションを実施した。その結果、主役級には、高度な演技力が求められることから、市民から選出することはできなかったが、主役の弟役のほか、エキストラを含め100名近くの方に出演していただいた。このことは、住民参加型の映画という点では大きな効果があったと考える。

落合 誠 議員
(議会改革推進の会)

その他の主な質問項目
◆実施目的と予算の詳細◆現段階での映画上映の来場者数などの状況◆今後の上映等のスケジュール

実現 議会だよりNO200掲載 平成30年第1回定例会
令和3年9月に全校実現 加古川市及び加古川市教育委員会の後援や共催の名義使用のあり方について

問 名義使用の許可後に、許可基準に抵触することが発覚した場合、許可の取り消しをするのか。また、名義使用許可の申請時に、内規の周知をしているのか。さらに、代表者等が許可後に政治家となり、政治利用が考えられる場合の対応についてはどうか。

答 名義使用の内規には、承諾の取り消しに係る規定があり、承諾後に基準に抵触することが判明したときは、承諾を取り消すこととなる。内規の周知については、申請時に主催者側へ、承諾基準や遵守事項など内規の内容を説明している。また、対象事業が承諾基準に抵触するかどうかの審査は、申請時での判断となるが、事業実施までの間に、政治的活動に関連するなど承諾基準に抵触する場合は、承諾を取り消すこととなる。

落合 誠 議員
(議会改革推進の会)

中学校給食の1日でも早い全校実施への取り組みについて

問 実施時期について、保護者への説明会が必要と考えるがどうか。

答 今までも、中学校給食基本方針等、教育委員会の決定事項は常に公表を行ってきた。給食実施時期については、具体的な計画が決まった際に周知を考えているが、説明会の開催は予定していない。給食開始前には適切な時期に、開始時期や給食費の徴収、アレルギー対応などについて、お知らせ文書を配付する等、丁寧な周知に努めたい。

その他の質問項目
◆市民の権利である情報公開制度について◆公文

調査研究中 議会だよりNO195掲載 平成29年第2回定例会
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への取り組みについて

問 2020年に向け、より多くの市民の盛り上がりと、期待や寂しみの増加が必要と考えるが、長期的な取り組みとしてはどのように考えているか。

答 オリンピック・パラリンピック競技大会への取り組みは、本市が目指す「いつまでも住み続けたいウェルネス都市加古川」の実現につながると考える。中でも、現在取り組んでいる、シッティングバレーボール競技の事前合宿誘致については、「ともに支えあう福祉社会を実現するまちづくり」に大きく寄与できるものと考える。そこで、事前合宿や交流事業、施設整備等を含めたホストタウン事業を進めるにあたり、本市の「後期総合基本計画」をはじめとする各計画を踏まえ、中・長期的なビジョンを示した本市の取り組み方針等の作成を進めている。

落合 誠 議員
(創政会)

問 加古川市在住や出身、ゆかりのある方で、強化指定選手に選ばれている方等の把握をしているか。

答 平成28年度にJOC(日本オリンピック委員会)が指定している強化選手の中には、加古川市にゆかりのある選手は含まれていない。本市からオリンピック・パラリンピックを目指す選手や、関連する競技協会への支援については、今後も情報収集に努めるとともに、関係団体の意見を参考に検討していきたい。

調査研究中 議会だよりNO198掲載 平成29年第5回定例会
加古川市PTA連合会事務局業務について

問 PTA対象外の方が、本部会や理事会、さらに平成28年度兵庫県PTA中央大会へ参加した事実はあるか。また、PTA組織への外部的圧力を感じている方がいることについての、市としての見解及び対応についてはどうか。

答 PTA連合会の理事会等、会議に応じになった時の加古川市情報公開・個人情報保護審査会◎公益財団法人加古川市ウェルネス協会により、アドバイザーとして元会長が出席する会議もある。平成28年度兵庫県PTA中央大会への、関係者以外の参加の事実はない。PTA連合会事務局としては、引き続き、市民に誤解や疑念が生じないよう適切な事務執行に努めていく。

落合 誠 議員
(議会改革推進の会)

その他の質問項目
◎市民の情報公開請求の目的と今年度の請求状況◆公文書開示請求者の個人情報保護◆公文書開示請求者の属性◆公益財団法人加古川市ウェルネス協会の平成27年度のコミュニティ活動推進事業◆文化事業◆PTA連合会の目的と対象者◆平成26年度の公開事業評価後の対応◆加古川市PTA連合会事務局業務の内容

実現 議会だよりNO194掲載 平成28年第5回定例会
学校園での動物教育の考え方について

問 学校園での動物飼育の目的と現在の状況はどうか。飼育について、ボランティアや地域コーディネーター※に協力いただくことについてはどうか。

答 動物を飼育することは、子どもたちの生命尊重の心や思いやりの心を育むことにつながり、教育的意義がある。平成26年度の調査では全幼稚園と、小学校28校中20校でウサギが飼育され、カモなどが飼育されている学校もある。地域の方に協力いただくことは教職員の負担軽減につながるが、鍵の管理など様々な課題があるため、今後、地域コーディネーター連絡会や学校園支援ボランティアとの連携を図りながら検討していく。

※地域コーディネーター とは、学校園と地域の交流・連携を推進する役目を担う人のこと

落合 誠 議員
(創政会)

その他の質問項目
◎人と動物が調和し、愛があふれる共生する社会の実現について◆動物愛護についての考え方と動物愛護週間の取り組み◆猫の不妊・去勢手術への助成◎公共工事入札参加業者および公共施設使用許可業者における社会保険等の加入について◆公共工事入札参加業者における社会保険等の加入◆公共施設使用許可業者における社会保険等の加入

▲浜の宮小学校のうさぎ

実現 議会だよりNO193掲載 平成28年第4回定例会
子どもの無料学習支援やひとり親への交流の場の提供について

落合 誠 議員

議員 子どもの貧困対策とひとり親家庭の支援策として、子どもの無料学習支援やひとり親の交流の場の提供等への取り組みはどうか。

教育指導部長 現在、一部の公民館ではスタディルームとして地域ボランティアの指導のもと学習支援活動を実施している。小学校での放課後子ども教室については、拡充計画を策定し、学習支援も含めた子どもの居場所づくりを進めていく。

また、県が進めている学校支援活動や放課後子ども教室等の個別の活動を総括した「地域学校協働本部」については、本市としても関係機関と連携しながら計画的に進め、地域全体で子どもを育む活動を推進したいと考えている。

その他の質問項目
◎子どもの貧困対策とひとり親家庭支援について
ひとり親家庭の現状／ひとり親家庭への総合的な支援のための相談窓口設置／病児保育とファミリーサポートセンター活用の充実／フードバンクや子ども食堂への支援

現在、ひとり親世帯への生活支援として、家庭支援課において、個別の相談支援を行っている。今後、情報共有のための交流の場についても、他市の動向に注視していきたい。

一部実現 議会だよりNO191掲載 平成28年第2回定例会
手話言語及び障がい者コミュニケーション促進条例制定について

問 条例化の目的、重きを置く点や特徴などと、障害者差別解消法との関係性についてはどうか。

答 この条例の目的は、障害の有無に関係なく、相互理解を深めるため、障害の特性に応じた多様なコミュニケーション手段を円滑に利用できる環境を構築しようとするものである。特に、日本語とは違う言語体系である手話を言語として明確に位置づけるとともに、すべての市民に対し、手話を含めた要約筆記、点字、音訳等のコミュニケーション手段に関する理解を深め、その普及を図っていくことが重要である。また、障がいのある人が障害の特性に応じたコミュニケーションを円滑に利用することができるように支援体制を整備し、利用の促進を図ることも、重要であると考える。この条例の整備により、障がい者との意思疎通が促進され、障害に関する正しい理解が深まり、障害者差別解消法が目的として定める「共生社会の実現」につながっていくものと考える。

落合 誠 議員
(創政会)

その他の質問項目
◎障害者差別解消法施行後の市の対応について◆山陽電車尾上の松駅をはじめ公共交通機関並びに公共施設等のバリアフリー化推進◆行政機関等の合理的な配慮業務並びに事業者への支援策◆障害者差別解消支援地域協議会などの設置◆障がい者の就職活動における差別の解消

実現 議会だよりNO190掲載 平成28年第1回定例会
加古川市内の駅のバリアフリー化について

落合 誠 議員

議員 平成26年度に山陽電鉄浜の宮駅がバリアフリー化されたが、市内その他の駅の整備状況と今後の計画はどうか。

都市計画部長 国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、1日の乗降客数が3千人以上の駅については、平成32年度末までにバリアフリー化することを目標としている。本市には鉄道駅が8つあり、JR加古川本線加古川駅、東加古川駅、JR加古川線神野駅、山陽電鉄別府駅、浜の宮駅の5駅はすでにバリアフリー化が完了している。今後検討が必要な駅は、JR加古川線日岡駅、厄神駅、山陽電鉄尾上の松駅である。このうち尾上の松駅は平成25年度に1日の乗降客数が3千人を超えたことから、事業者と調整しながらバリアフリー化を目指していきたい。

▲エレベーターが設置された浜の宮駅

その他の質問項目
◎公共交通機関利用での高齢者・障がい者等の移動等円滑化／高齢者が利用する電動シニアカーの駐車スペース確保
周辺整備について
公共交通機関バリアフリーと周辺整備について

実現 議会だよりNO189掲載 平成27年第5回
子育て世代包括支援センター設置による子育て支援について

落合 誠 議員

議員 子育て世代包括支援センター設置について、その時期と場所の計画はどうか。また、支援の内容や専門職の配置についての見解はどうか。

こども部長 センターの設置については、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援をワンストップで実施するため、まず、本庁舎内への早期設置に向けた検討を進めている。また、センターでは、支援が特に必要な妊娠・出産期において、包括的な対応を可能とするため、保健師等の専門職を配置することにより利用者のニーズを的確に把握し、多くの支援メニューの中から適切な支援に結び付ける「ワンストップ支援」を実施したいと考えている。

その他の質問項目
◎妊娠期からの切れ目のない子育て支援の充実（加古川版ネウボラ）について
妊娠期からの子育て支援策
◎産後ケアについて
産後ケアの現状／リスクの高い子育て家庭の早期発見・早期支援策
◎産下校の安全対策について
緊急合流点検での危険箇所などの改善対応と公表／平成25年度策定した「加古川市通学路交通安全プログラム」の実施状況と今後の子ども・交通安全指導員並びにボランティア等の人的な交通安全対策／ICTを含む登下校のハード面とソフト面を総合した安全対策の実施計画

実現 議会だよりNO185掲載 平成27年第1回
ボランティアポイント制度の導入について

落合 誠 議員

議員 全国では、260以上の自治体がボランティアポイント制度を導入している。市政への市民参画や協働には制度の導入が有効と考えるが、本市の導入予定はどうか。

企画部長 例えば、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者の生活を支えることによって、自らの生きがいと健康を維持していくことと、介護支援の担い手のすそ野を広げるという相乗効果が期待できると考えられる。こうした高齢者の支援をはじめ、互いに暮らしを支え合う地域貢献型のボランティアポイント制度を活用することについて、先進都市の事例を参考にしながら、調査・研究を進めていきたい。

その他の質問項目
◎総合的な地域貢献型のボランティア活動の推進について
市民のボランティア活動の現状／ボランティア育成策と今後の取り組み／世代を超えたボランティア活動へのきっかけづくり
◎尾上公園について
今後の具体的な整備計画

一部実現 議会だよりNO184掲載 平成26年第5回定例会
尾上公園について

落合 誠 議員

議員 尾上公園の整備は、加古川下流浄化センター建設計画時の昭和63年に周辺整備事業として当時の市長と地元町内会との間で協定が締結されたが、未だ整備が完了しておらず、地元住民との約束が果たされていない。この件に関して市の見解と今後の計画はどうか。

建設部長 尾上公園は、昭和63年に全体面積11.5haの総合公園として都市計画決定した。このうち尾上公民館等の周辺3.5haの整備は完了しているが、それ以外の部分は、本市の厳しい財政状況により整備に至っていない。今後は、市民ニーズにふさわしい総合公園として整備内容等の転換を図り、防災機能を備えた、多目的に活用できる公園を目指し、地域をはじめ関係機関との協議を進める必要があると考えている。

その他の質問項目
◎中学校区連携ユニット12について
ユニット12での学校園連携での効果と課題／学校園支援ボランティアの現状と今後の目標／地域総がかり教育の実現での今後の取り組み／かこがわ教育ビジョン後期計画策定時のメンバー並びに進め方
◎家庭教育支援について
家庭での母親と父親の家庭教育の役割の違い／家庭教育大学の現状の効果と課題／家庭教育大学終了後の学校園との関わり方／父親への施策とおやじの会の必要性／祖父母の家庭教育への関わり方／家庭へ出向いての家庭教育支援の必要性／家庭教育支援チームの考え方
◎手話通訳派遣と普及について
手話通訳の派遣状況／市主催行事での手話通訳実施状況／手話への理解を深める施策

おちあい誠後援会
〒675-0023加古川市尾上町池田327ナチュラルクローバージャパン内TEL079-427-7296（留守電受付）